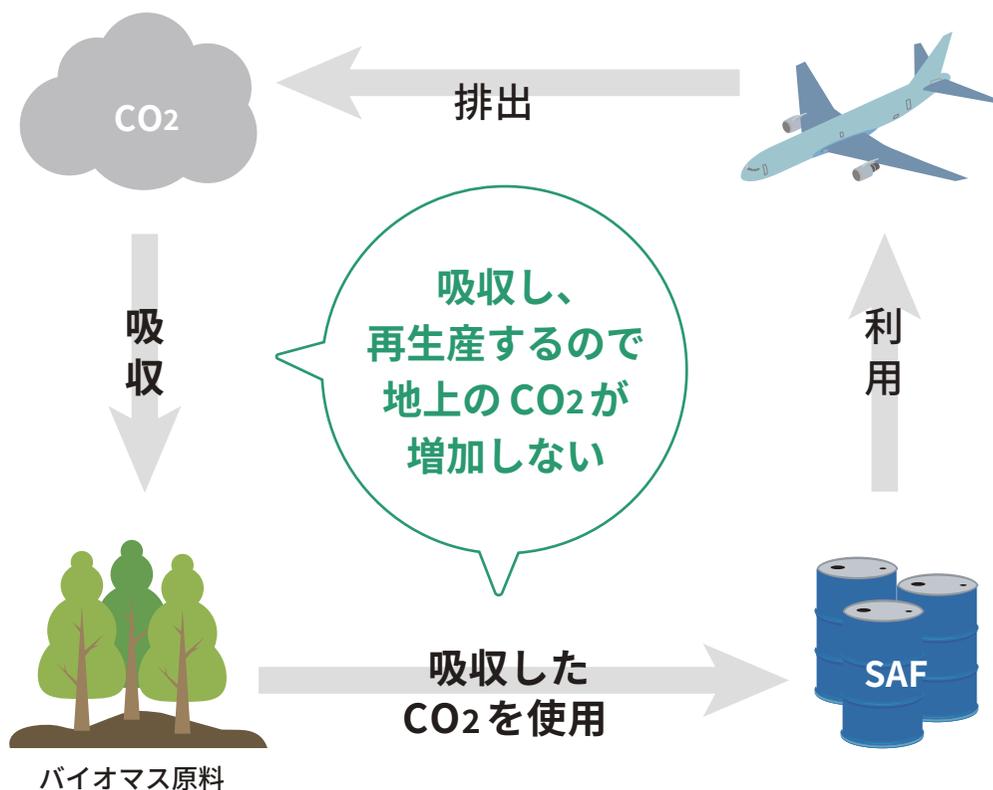


SAFとは

持続可能な航空燃料 (Sustainable Aviation Fuel)、いわゆる「SAF」(サフ)。
従来のジェット燃料と比較して
約60%～約80%のCO₂削減効果がある。



ICAO*に登録されている原料は21種。
原料・原産地・製法の組み合わせで69種。

※国際民間航空に係る国際標準、法的枠組みの確立等を担う国連の専門機関

例) 都市ゴミ、廃食油、獣脂、サトウキビ、
トウモロコシ油 など



SAFの規格

☑️ 安全基準

ジェット燃料として
利用するためには、
ASTM^{※1}規格等^{※2}を満たす必要がある。

※1 世界最大規模の標準化団体である ASTM International が
策定・発行する規格。エネルギーや環境等、130 分野の規格を策定。
※2 航空機メーカー指定の燃料であることが必要。

☑️ 環境基準

CORSIA[※] 適格燃料として
登録・認証を得ることで、
CO₂削減効果が認められる。

※ICAO の目標達成のため、オフセットの仕組み（SAF やクレジットの利用）等を規定する制度。
2016 年の ICAO 総会において採択。



**ASTM
規格等^{※2}**

**CORSIA
適格燃料登録**



実効性のある
SAFとして
利用可能に！



SAFの課題

1

製造コストが高い



2

十分な原料確保



3

供給量の拡大と
確実な利用